

条例
全会一致で
可決

保育事業等の設備・運営基準を改正

保育士の勤務環境の改善を

保育の質を落とさずに、保育士が行う業務について要件を柔軟化することで、保育士の勤務環境の改善につなげます。

【幼稚園教諭及び小学校教諭等の活用】

幼稚園教諭や小学校教諭、養護教諭の普通免許を有する者を、保育士と見なすことができるようになります。

【代替要員の緩和】

利用定員の総数に応じて置かなければならない保育士の数を超えて必要となる保育士について、保育士と同等の知識を有する者を保育士と見なすことができるようになります。

※ただし、保育士の資格を有する者を各時間帯において必要となる保育士の数の3分の2以上置かなければなりません。

【朝夕の保育士配置の緩和】

これまでは、朝夕などの児童が少人数となる時間帯であっても、常に保育士2人の配置が必要でした。これからは、保育士1人と保育士と同等の知識を有する者1人（補助者）を保育士と見なすことができるようになります。

【対応前イメージ】

	7～9時	9時～17時	17～19時
保育士A			
保育士B		16時	
保育士C			
保育士D		11時	

【対応後イメージ】

	7～9時	9時～17時	17～19時
保育士A		16時	
保育士B			
保育士C			
保育士D		11時	
補助者E			
補助者F			

【避難階段の構造の取り扱い】

4階以上の階段室について、階段室または付室が、火災時の煙が付室を通じて階段室に流入することを防止することと改正されました。

※付室とは煙を階段室まで侵入させないために設けられている前室となります。

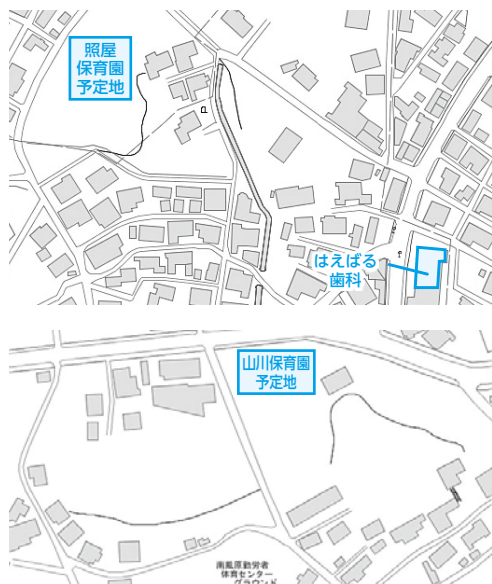
補正予算
全会一致で
可決

平成28年度一般会計予算に
1億9568万円を
追加しました。

待機児童解消に向け保育園整備

事業費 1億9416万円

山川保育園の単価を増額します。照屋保育園の新設や、なのはな保育園の増築も行います。



幼少期の体力向上を

事業費 152万円

沖縄県の児童生徒は全国体力・運動能力等調査で低い傾向にあります。幼少期から運動に親しみ・楽しさを感じてもらうため、4幼稚園で専門家による体育指導を行います。